



プラスチックごみについて



しゅってん かんきょうしょう

出典：環境省

日本容器包装リサイクル協会

令和7年度

じゅんかんがた すいしん
循環型社会推進キャラクター
クリーンちゃん

ぎふし かんきょうぶ かんきょうじぎょうか
岐阜市 環境部 環境事業課 *

*をタップすると、関連するホームページに展開します。

かんしゅう ぎふし きょういくいいんかい がっこうしどうか
監修：岐阜市 教育委員会 学校指導課

SDGs(エスディー・ジーズ)って知っていますか？*

[がいせしよ
外務省ホームページへ](#)



みなさん、SDGsって知っていますか？

このようなマークを、新聞やテレビなどで見たことがありますか？

SDGsは、「持続的な開発目標」という意味です。

世界中の人びとが誰一人として取り残されることなく、安心安全に暮らしていけるように、2030年をゴールとしてSDGsの17の目標が掲げられています。

5年後の2030年は、みなさんの中で社会で活躍している人もいれば、学生として勉強に励んでいる人もいます。

SDGsは、みなさんの未来へつながる大切な目標です。

もんだい にかか もくひょう プラスチックごみ問題に関わる3つの目標



SDGsの中で、今回みなさんと考えていくプラスチックごみに関する目標です。

私たちの暮らしの中で毎日大量に出るプラスチックごみによって、海洋汚染が進み、海の豊かな環境や生態系が壊れ、世界的な問題となっています。

そのため、これに関連して、SDGsの目標として、

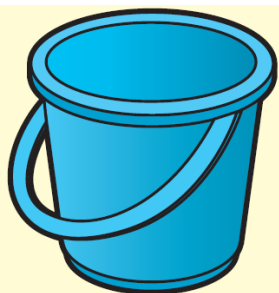
3 「すべての人に健康と福祉を」

12 「つくる責任 つかう責任」

14 「海の豊かさを守ろう」

の3つの目標があります。

プラスチックを使^{つか}って作^{つく}られたもの



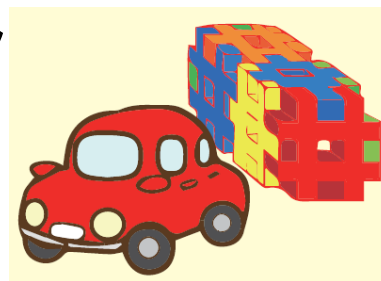
バケツ



タッパー



たまごのパック



おもちゃ



かし ふくろ
お菓子の袋

みなさんの身のまわりには、プラスチックでできたものがたくさんありますよね。

プラスチックは軽^{しょうぶ}くて丈^{かんたん}夫^{かんたん}で、安^{かんたん}くて簡^{かんたん}単^{かんたん}に、ものを作^{つく}ったりする^{つく}ことができ、いろい^{いろ}ろな^{いろ}もの^{いろ}に使^{つか}われて^{つか}います。

では、このプラスチックが、地^{かんきょう}球^{かんきょう}環^{かんきょう}境^{かんきょう}や私^くたち^くの暮^{えいきょう}ら^{えいきょう}し^{えいきょう}にど^{ぐたい}の^{ぐたい}よ^{ぐたい}うな^{ぐたい}影^{ぐたい}響^{ぐたい}を^{ぐたい}与^{ぐたい}えて^{ぐたい}い^{ぐたい}る^{ぐたい}か、具^{ぐたい}体^{ぐたい}的^{ぐたい}に^{ぐたい}考^{ぐたい}えて^{ぐたい}い^{ぐたい}き^{ぐたい}ま^{ぐたい}し^{ぐたい}よ^{ぐたい}う。



この写真を見てください。

これは高知県の海岸の写真です。

ほぼ毎日清掃が行われており、ごみ一つないきれいな海岸です。

海岸には、たくさんの生き物のほか、きれいな貝がらやビーチグラス（ガラスの破片が波によって角が磨かれて丸くなったもの）などを見つけて楽しむことができます。



この写真も日本の海岸です。さっきの写真と全然違ぜんぜんちがいますよね。

海岸には、木くずやペットボトル、蛍光灯けいこうとうなど、私たちの生活の中でよく見られる日用品が、ごみとして散在さんざいしています。

その他、水色やオレンジのものは、プラスチック製の漁業用ブイぎょぎょう（漁具ぎょぐ）、写真中央には、同じく漁業用ブイとして使用されていた発泡スチロールはっぼうがあります。

程度ていどの違いちがいはあるものの、ごみが散在する海岸は、日本全国そんざいに存在します。

ないりく はっせい やま かわ うみ みず なが つう かいがん なが つ
内陸で発生したごみは、山、川、海へとつながる水の流れて通じて海岸に流れ着きます



①まちなかの様子



②まちなかで見つけたごみ



③川岸の様子



しょくひん はへんなど
食品プラスチックケースの破片等



かいがん なが
④海岸に流れついたごみ



ようき
チューブ容器

次は、陸や川のごみを見てみましょう。

まず、①の写真は、まちなかのごみステーションの様子です。カラスなどの動物に荒らされて、ごみが散乱していますね。

②の写真は、まちなかに落ちていたごみの写真です。

弁当の容器や、ペットボトルなど、私たちの生活の中でよく使われるものばかりです。

③は、川の写真です。枝や木片などの自然物に加え、植木鉢や歯磨き粉の容器が落ちていますね。

④は、海岸のごみの写真です。ペットボトルや、食品のチューブ容器が落ちています。

陸も川も海も、私たちの生活の中でよく見るものが落ちています。なぜだかわかりますか？

道路や歩道、公園などにポイ捨てされたごみは、大雨や風などによって側溝や川に流れ込み、海へと流れていきます。

海のごみの7割以上は、陸から発生したごみが川を流れてきたものと言われています。

うみ　なが　つ　お　もんだい 海に流れ着いたプラスチックごみが起こす問題



①プラスチックごみをえさと間違えて食べているウミガメ



ぎよもう
②漁網にからまった
ウミガメ



ぎよもう　どうぶつ
②漁網にからまった動物を
たすけるダイバー

①の写真を見てください。

プラスチックごみをウミガメが、えさと間違えて食べています。

②の写真は、漁をするときに使う網あみがそのまま海に残り、生き物が絡からまってしまっています。
亀かめなどは自分で網を取ることができないため、このまま死んでしまうということもあります。



① ^{あみ} ^{はい} ^{りょうし} ^{ぶんべつ} ^{ようす}
網に入ったごみを漁師が分別している様子



② ^{かいてい} ^{のこ} ^{ぎょう} ^{さかな}
海底に残された漁網にからまった魚

海のごみは、海の底にも溜まります。

①の写真は、漁で網を引き揚げる度に、ごみがいっぱい出てくるので魚と分ける作業をしなければなりません。

②の写真は、漁の網が海の底に残り、そこに生物が絡まり、その死骸が餌となって他の生物が引き寄せられる「ゴーストフィッシング」と呼ばれています。

プラスチックごみが、マイクロプラスチックになると、 さまざまな動物が餌と間違えて食べてしまいます

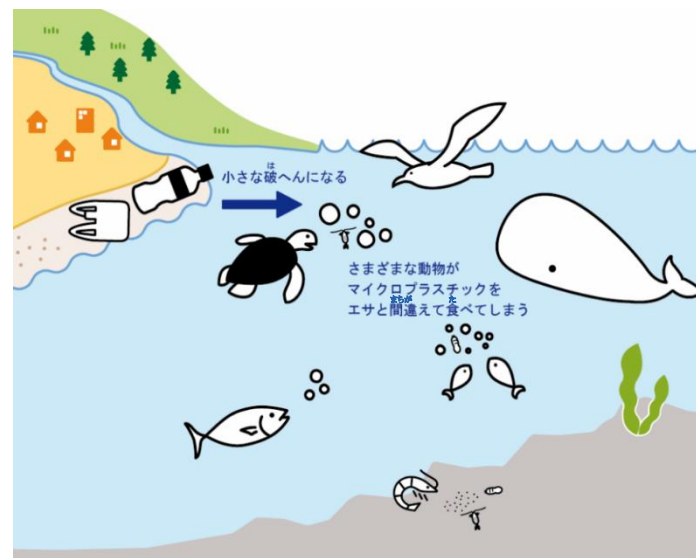


しがいせん なみ ちから
紫外線や波の力でボロボロになったペットボトル



すなはま み ちい
砂浜で見つかった小さなプラスチック

「マイクロプラスチック」
5mmより小さなプラスチックのこと



では、わたしたち人間には害はないのでしょうか？

プラスチックは、太陽からでる紫外線によってボロボロになり、波の力で細くなっていきます。

特に、5mm以下の小さなプラスチック片は、「マイクロプラスチック」と呼ばれ、さまざまな動物が餌と間違えて食べてしまいます。

その動物を食べたら、わたしたちの身体にもマイクロプラスチックが入ってきます。

じつは、東京湾のカタクチイワシ64尾のうち、49尾の胃の中からマイクロプラスチックが発見されています。

このまま何もしなければ、およそ25年後の2050年にプラスチックごみの量が、魚の量より多くなるといわれています。

も おんしつ こうか に さん か たんそ
プラスチックを燃やすと温室効果ガス(二酸化炭素) が
はっせい ちきゅう おんだんか すす
発生して、地球温暖化が進みます

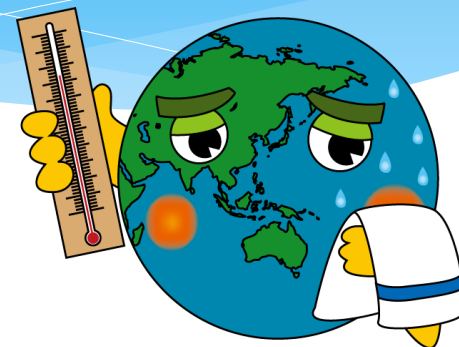
すると・・・？

かんきょう へんか さいがい ふ

環境の変化や災害が増えたり、

ぜつめつ い もの で い

絶滅する生き物が出てくると言われます



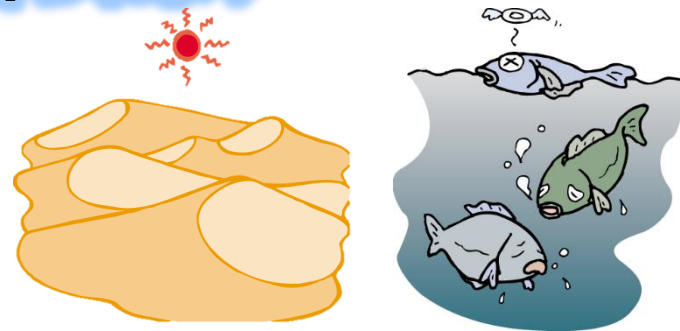
海のごみを減らすために、ごみをポイ捨てをしないことは、大切なことです。
では、ポイ捨てをしなければ、プラスチックごみを出しても大丈夫なのでしょうか？

みなさん、プラスチックって何からできているか知っていますか？

プラスチックは、石油から作られています。

石油は、化石資源しげんと言われていて、これから作られたプラスチックを燃やすと温室効果ガスである二酸化炭素が生じ、地球温暖化が進んでしまいます。

これにより、環境の変化や災害が増えたり、絶滅する生き物が出てくると言われています。



^{うみ}
海のごみやプラスチックごみを減らすため、
わたしたちにできることって、
なんだろう？



では、海のごみやプラスチックごみを減らすため、私たちにできることはなんでしょうか？

みなさんができると、まだやっていないことがあれば、ぜひ今日からでも実践^{じっせん}してもらいたいです。
これからみなさんに、どんなことを意識して生活してほしいか、お話しします。

せい ようき ほうそう しげん
プラスチック製容器包装を資源として

リサイクルしよう！

いま も あつ
今まで燃やすごみとして集めていましたが・・・

すす
リサイクルを進めるため、

せい ようき ほうそう ＊
「プラスチック製容器包装」

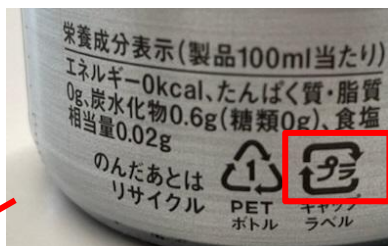
しゅうしゅう
を収集しています！

岐阜市では、令和4年4月から、プラスチックごみをリサイクルするため、今まで燃やすごみとして集めていたプラスチック製容器包装を燃やすごみと分別して収集しています。

プラスチック製容器包装の分別収集の動画はこちら ＊

せい ようき ほうそう プラスチック製容器包装とは？

た もの しょうひん つつ せい
食べ物などの商品を包んでいるプラスチック製の
ふくろ なかみ と だ
袋やパックで、中身を取り出したらいらなくなり、
ごみになるものだよ！



プラマーク
めじるし
が目印だよ！



プラスチック製容器包装は、プラマークが目印で、食べ物などの商品を包んでいるプラスチック製の袋やパックなどです。

中身を取り出したらいらなくなり、ごみになるものをいいます。

「プラスチック製容器包装」の種類

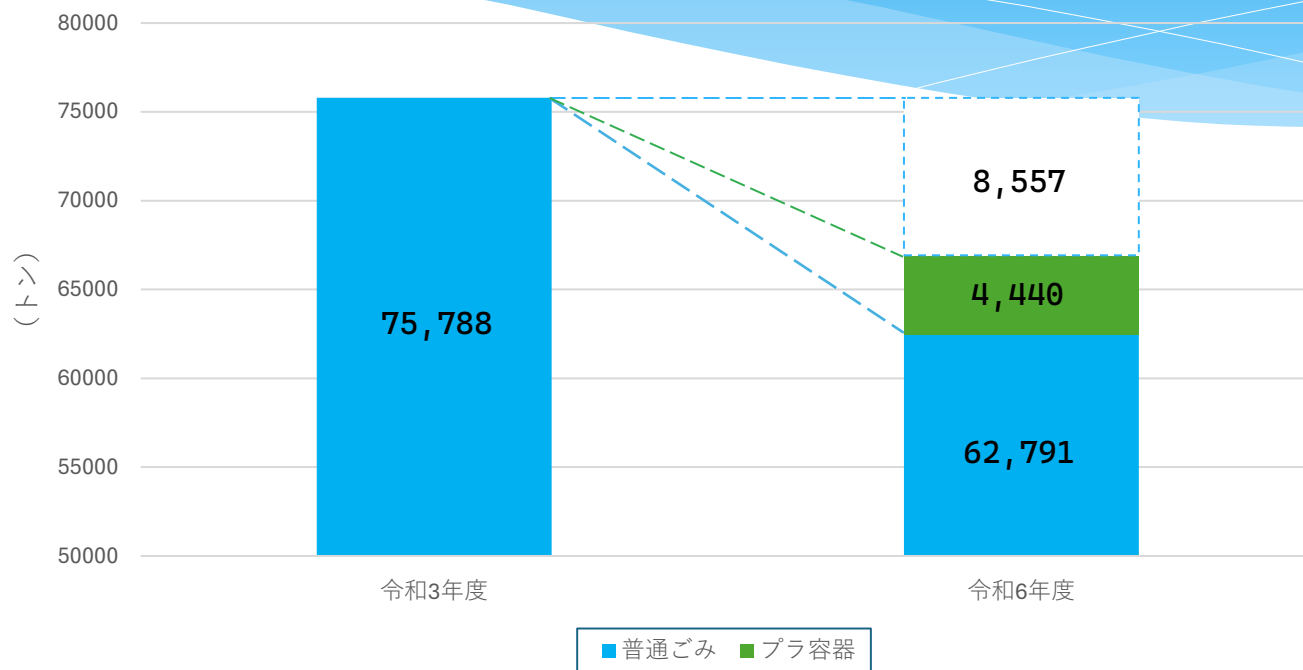


ぐたいてき かし ふくろ かんけい み
具体的には、お菓子の袋やたまごのパックなどの食べ物の容器や、シャンプーボトルなどの日用品関係など、身の回りにいっぱいあります。

プラスチック製容器包装は、中身を取り出したらいらなくなりますが、それをごみとして燃やさずに、リサイクルするために、分別収集を始めました。

ねん かん りょう くら 1年間のごみの量を比べてみよう

ふつう せいようきほうそう しゅうしゅうりょう
普通ごみとプラスチック製容器包装の収集量



まずはじめに、普通ごみの収集量をみてみましょう。令和3年度は75,788トンであったのに対し、令和6年度は62,791トンでした。令和6年度は、普通ごみ62,482トンのほかに、プラスチック製容器包装を4,440トン収集して、資源化されています。このことから、令和3年度と令和6年度を比べると、さらに普通ごみが8,557トン減っていることがわかります。この要因としては、分別収集が始まったことにより、排出者のごみの分別意識が高まったことなどが考えられます。

それでは、

^{ぶんべつ}
わたしたちが分別した

^{せい ようき ほうそう}
プラスチック製容器包装は

^{はこ}
どこへ運ばれるの？



それでは、私たちが、分別したプラスチック製容器包装はどこへ運ばれるのでしょうか？

ぎふし 岐阜市リサイクルセンター*



ビン、カン、ペットボトル、プラスチック製容器包装をリサイクルするための施設

分別されたプラスチック製容器包装などは、岐阜市の木田地域にある「岐阜市リサイクルセンター」に運ばれます。

リサイクルセンター紹介動画はこちら→



*

と のぞ リサイクルできないごみを取り除いています *



てさぎよう と のぞ
手作業でごみを取り除いています



ご しほう かたまり
その後、1m四方の塊にしています

プラスチック製容器包装の中に、他のごみが混じっていると適切にリサイクルできません。
そのため、ごみ袋を全部破って、作業員のみなさんが、手作業で、プラスチック製容器包装ではないごみや、汚れたものを取り除いています。
この後、リサイクルする会社が運びやすいように、1m四方の塊にしています。

みなさんも、ぜひ「岐阜市リサイクルセンター」に見学に来てください。

か 新しいものに生まれ変わります



にもつ はこ
荷物などを運ぶパレット

写真提供:(公財)日本容器包装リサイクル協会



そざい
ペレット(プラスチック素材)

写真提供:(公財)日本容器包装リサイクル協会



バケツなど
プラスチック製品

そのあと、リサイクルする工場で、別のプラスチック製品に生まれ変わったり、化学製品をつくる工場で原料げんりょうとして使われることで、
みなさんの生活ふたたに再び役立っています。

みなさんも、ごみにしないで、分別して、新しいものに生まれ変わらせましょう。

へんり ゆうこう かしこ りよう
とても便利なプラスチックを有効に賢く利用し、
プラスチックごみを減らしていきましょう



プラスチックは決して悪者ではありません。

金属きんぞくと比較ひかくして安くかこうて加工しやすいプラスチックは、様々なさまざま場面で活用されており、

たとえば、みなさんが日常にちじょう使っている文房具ぶんぼうぐをはじめ、スーパーに並ぶなら食品にも多く使われています。

とても便利なプラスチックを有効に、賢く利用すれば、海のプラスチックごみも減らすことができるはずです。

いま、わたしたちが何かできることを考え、一緒にいっしょプラスチックごみを減らしていきましょう。